

SUPER 又ふれ通信

女性研究者研究活動支援事業「S」評価

平成23年度から取り組んできた3年間の活動に対する事後評価が公表され、本学は最高ランクS評価を得ました。5つの観点のうち、「目標達成度」、「取組」、「実施期間終了後の取組の継続性・発展性」の3項目でいずれも「S」と評価され、総合評価S(所期の計画を越えた取組が行われている)を受けました。



総合評価	目標達成度	取組	取組の成果 (システム改革)	実施体制	実施期間終了後の取組の継続性・発展性
S	S	S	A	A	S

評価コメント

部局が県内の複数キャンパスに分散する中、学長のリーダーシップの下、部局の連携を密にして機関全体としての意識改革を進め、部局毎に女性教員採用数値目標を設定し、女性限定教員公募等のポジティブ・アクションを実施することにより採用を積極的に進めた。また、学内保育施設の新設等により女性研究者を取り巻く研究環境を整備し、ライフイベントを理由とする女性研究者の離職を抑制し、所期の目標をすべて達成したことは高く評価できる。

今後は、一層の意識改革により自然科学系分野における上位職女性教員を増加させることを期待する。



松岡 英子
男女共同参画推進室長

お礼のご挨拶

3年間取り組んでまいりました本学の活動に、最も高い評価をいただくことができました。男女共同参画のための環境整備や意識改革の取組を進め、当初の目標を達成できたのは、ひとえに皆様のご協力の賜物と、心から感謝申し上げます。

現在は3年間の活動の成果を生かして、女性研究者支援から男女共同参画推進へと取組を発展させております。今後とも性別にかかわらず、教職員、学生一人一人がその個性と能力を十分に発揮できる環境づくりに努めてまいります。

皆様にはより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

女性研究者を採用する部局に学長裁量人件費による支援を決定

部局別女性教員増員目標数の決定

男女共同参画推進委員会
・部局別増員目標数決定
・各部局に上位職女性研究者増加の協力要請

ポジティブ・アクションの実施

すべての教員公募に「能力が同等と認められた場合には女性を採用します」と記述

女性限定公募の実施

4部局で実施
・工学部 1名 ・農学部 2名
・繊維学部 1名
・全学教育機構 2名

目標達成

中心となる5つの取組

1. 支援体制及び相談体制の確立
2. ライフイベント期間中の研究活動の支援
3. 柔軟な勤務体制の確立
4. 意識啓発活動
5. 女子学生・大学院生のキャリア形成支援



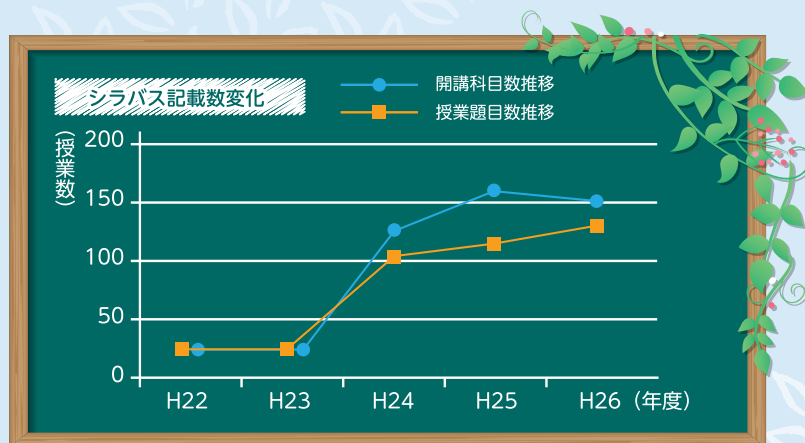
おひさま保育園
(学内保育園)の開設

本学シラバスにおける「男女共同参画」・「ジェンダー」の記載について

本学では、「信州大学男女共同参画行動計画」に基づき、男女共同参画に関する教育・啓発活動を推進する一環として、学生に対しても男女共同参画に関する講義・セミナー等の意識啓発活動を実施しています。

平成24年度から男女共同参画に係る内容を含む授業には、指定する文言の「本授業は男女共同参画推進に関する内容を含んでいます。」を該当授業のシラバスに記載するよう学長から教員に依頼をしました。

下のグラフは、授業のシラバスに記載された「男女共同参画」または「ジェンダー」の文言の記載数です。



※【開講科目数】は、同一授業題目の科目を重複して数え、【授業題目数】は、同一授業題目を重複せずに数える。例えば、「ドイツ語初級(読解・会話)Ⅰ」と言う授業が、前期に1回、後期に1回ずつ行われている場合、【開講科目数】では授業数2と数え、【授業題目数】では授業数1と数える。

授業計画において「男女共同参画」・「ジェンダー」について記述のある授業

シラバスから、「男女共同参画」・「ジェンダー」をキーワードに検索した結果を一部抜粋して紹介します。

教員氏名	授業名	開講部局	授業計画
阿久津昌三	文化人類学Ⅰ	教育学部	第13回：男と女
荒井英治郎	教育社会学概論	共通教育 (全学教育機構)	第6回：学校教育におけるジェンダー (男・女であることとは何か)
加藤 善子	ジェンダー論	共通教育 (全学教育機構)	ジェンダー、男性の生き方、女性の生き方、 対等な人間関係、自己実現
川 茂幸他	キャンパスライフと健康	共通教育 (全学教育機構)	共生社会 (イコール・パートナーシップ委員会協賛)
金 早雪	各国経済事情	経済学部	ジェンダー主流化、女性家族省そして女性大統領 韓国におけるジェンダー問題や、女性家族省(2000年設置) が中心となって推進している男女共同参画の実態
坂口けさみ他	ヒューマンセクシュアリティ	共通教育 (全学教育機構)	第1回～第5回：人間の性に関する講義等
杉本 公一	ものづくり入門ゼミ	共通教育 (全学教育機構)	男女共同参画について(1週)
田中 祥貴	日本国憲法	共通教育 (全学教育機構)	第8回法の下での平等(ポジティブアクション、男女平等、 社会的少数者の権利、差別問題)
茅野 恒秀	社会学概論Ⅰ	人文学部	第6回：親密性/親密圏(2):家族とジェンダー、家族の縮小
橋本 政晴	体育社会学	教育学部	第15回：学校体育とジェンダーをめぐる社会学
松岡 英子	現代社会と家族	教育学部	第13回：ジェンダーと家族
村上 好成	環境問題を化学者と考えるゼミ	共通教育 (全学教育機構)	第15週：男女共同参画問題

※順番は教員の五十音順

新委員の紹介



関 利恵子
学術研究院准教授
(社会科学系)

みなさん、こんにちは。
関 利恵子です。
信州大学が快適に働くことのできる場であるようにと思っています。
よろしくお願いいたします。



番場 教子
学術研究院准教授
(工学系)

保育園に通う1歳児に毎日振り回されています。そんな中で、男女共同参画の委員として何ができるのか!?がんばります。



北見 央
工学部主査

男女共同参画の仕事は初めてですが、職場環境の改善に少しでもお役にたてればと思います。
よろしくお願いいたします。

平成27年度 男女共同参画推進室会議委員名簿

役職名等	氏名
理事(人事担当)	渡邊 裕
男女共同参画推進室長	松岡 英子
学術研究院教授(教育学系)	花崎 美紀
学術研究院准教授(人文学系)	関 良徳
学術研究院准教授(教育学系)	関 利恵子
学術研究院准教授(社会科学系)	中島 美帆
学術研究院教授(保健学系)	坂口けさみ
学術研究院准教授(工学系)	番場 教子
学術研究院助教(農学系)	田中 沙智
学術研究院助教(繊維学系)	新井 亮一
学術研究院准教授(総合人間科学系)	兼元 美友
総務部長	大森 浩之
総務部人事課長	本 芳則
工学部主査	北見 央
繊維学部事務長補佐	藤澤みどり
医学部附属病院副看護師長	両角 光市
計	16名

「信州女性の活躍推進シンポジウム ～働く女性のキャリアアップ戦略～」

開催報告

平成27年2月12日(木)、ホテルメトロポリタン長野において長野県男女共同参画推進県民会議・長野県主催、長野労働局・信州大学後援で開催されたシンポジウムは、キャリアアップを目指す女性や女性のキャリアアップを応援する企業関係者ら250名が集まりました。加藤さゆり長野県副知事のあいさつで始まり、**キャロライン・ケネディ駐日米国大使**からは、女性の活躍を応援するメッセージ(米国大使館経済部二等書記官代読)が画像とともに届けられました。

基調講演は長野市出身の農林水産省水産庁漁政課長新井ゆたか氏による「働く女性の活躍促進について」、また、パネルディスカッションは「女性のキャリアアップについて」と題し、本学の松岡英子男女共同参画推進室長がコーディネーターを務めました。

パネルディスカッションでは、女性が自分らしくキャリアアップするため何が必要か、パネリストの体験談をもとに様々な意見が語られました。



キャロライン・ケネディ
駐日米大使



いかに男性と同じように働くかという男性スタンダードに近づくのではなく、日本のこれまでの働き方の文化を変えていく。そのためにはまず企業経営者やトップの意識が変わることです。



〈コーディネーター〉
男女共同参画推進室長 松岡 英子

〈パネリスト〉

- ◆ 株式会社ヤッホーブルーイング 代表取締役社長 **井手 直行氏**
- ◆ セイコーエプソン株式会社 財務経理部課長 **川上 綾氏**
- ◆ 日本テレビ放送網株式会社 報道局解説委員 **宮島 香澄氏**

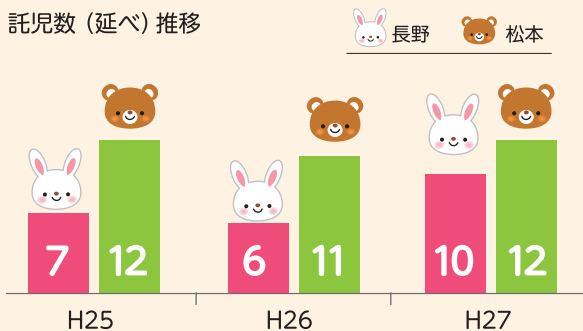
センター試験における一時保育の実施

1月17・18日に行われた大学入試センター試験における一時保育を、松本キャンパス、長野(教育)キャンパスの2カ所で行いました。

松本は教職員5名、延べ12名のお子さん、長野は教職員4名、延べ10名のお子さんの利用がありました。

一時保育は3年目となり、利用数も徐々に増えてきています。教職員が安心して利用できるよう、隔地キャンパスにも取組を拡大する検討を行っていきます。

託児数(延べ)推移



ロールモデル集 vol.3 「輝け！ひとりひとりの可能性」 発行のお知らせ

今回のロールモデル集は、教員はじめ事務系職員・技術系職員と幅広く、本学で活躍中の方に登場いただきました。

また、学生による「これからの男女共同参画にわたちができること・やりたいこと」座談会も掲載しております。

多くのおみなさんにご覧いただきたい内容となっています。



ご希望の方は男女共同参画推進室までご連絡下さい。

◀座談会の様子



推進室の看板をご存知ですか？

「女性研究者支援室」から「男女共同参画推進室」に改称したため、長野分室の看板は、教育学部の村松浩幸先生、小林比出代先生にご協力いただいで作製したものです。

元の看板を村松先生にきれいに整えていただき、小林先生には室名を書いていただきました。

お近くに寄られた際には、どうぞご覧ください。



群馬大学「まゆだま広場」

松岡室長が群馬大学女性研究者研究活動支援事業外部評価委員に委嘱され、2月23日に外部評価委員会に出席し、その後のFD研修において本学の活動成果と課題について話しました。

その際、教職員用交流スペースの「まゆだま広場」を見学しました。「まゆだま広場」は教職員の子どもが遊んだり、男女教職員が集ったり、ランチに使ったりできるスペースです。

3月9日開催の男女共同参画推進室会議にて、本学の隔地キャンパスでこのようなスペースの開設を検討することになりました。

予告

「うまれる ずっと、いっしょ。」上映会

映画「うまれる」の第2弾「うまれる ずっと、いっしょ。」の上映会を予定しています。この映画は家族・生きる・いのちをテーマとした映画です。前回の第1弾では205名の学生、教職員の皆様にご覧いただきました。

開催日程についてはスフレウェブサイトにて。



お問い合わせ

信州大学 男女共同参画推進室 (SuFRE)

松本分室
(総務部人事課内)

〒390-8621 松本市旭3-1-1
TEL 0263-37-2167 内線 811-2127 FAX 0263-37-3314

長野分室
(教育学部内)

〒380-8544 長野市西長野6-0
TEL/FAX 026-238-4048 内線 831-4048

開室時間

9:00 ~ 17:00 (月~金)

E-mail: sufre@shinshu-u.ac.jp

信州大学 スフレ

検索

